



非循環・かけ流し(水耕/土耕)

水10リットルにつき

		日照時間	(生長期) 18時間			(開花期) 12時間									
			1 発芽・クローン	2 生長前期	3 生長後期	4 開花移行期	5 開花前期	6 開花前期	7 開花中期	8 開花中期	9 開花中期	10 開花後期	11 成熟期	12 リーチング	
		週 生長段階 PPM	200-400	500-700	600-800	500-700	500-700	500-700	500-700	500-700	600-800	600-800	400-600	0-200	
simple program	expert program	ベース肥料	BioThrive Grow	13.2ml	26.4ml	26.4ml	26.4ml	-	-	-	-	-	-	-	-
		BioThrive Bloom	-	-	-	-	26.4ml	26.4ml	26.4ml	26.4ml	26.4ml	26.4ml	26.4ml	-	
	Vigor	CaMg+	13.2ml	13.2ml	13.2ml	13.2ml	13.2ml	13.2ml	13.2ml	13.2ml	13.2ml	13.2ml	6.6ml	-	
	Roots	BioRoot	13.2ml	26.4ml	26.4ml	26.4ml	26.4ml	-	-	-	-	-	-	-	
	Strength	BioWeed	6.6-13.2ml	6.6-13.2ml	6.6-13.2ml	6.6-13.2ml	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Weight	BioBud	-	-	-	-	6.6ml	6.6ml	6.6ml	6.6ml	6.6ml	6.6ml	-	-	
	Flavor	BioMarine	13.2-26.4ml	13.2-26.4ml	13.2-26.4ml	13.2-26.4ml	13.2-26.4ml	13.2-26.4ml	13.2-26.4ml	13.2-26.4ml	13.2-26.4ml	-	-	-	
	Weight	Diamond Black	13.2-26.4ml	13.2-26.4ml	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

トラブルシューティング

「乾燥・まぶしい・高温」などの環境では植物は「多湿・暗い・低温」な環境よりもより多くの水分・培養液を吸収します。環境が極端な場合は肥料焼けのリスク軽減のために、培養液を薄めに配合してください。培養液のpH値によっては、植物が栄養分を正常に吸収できない事があります。GHのpH調整液を使用して、培養液のpHを5.5~6.5に調整するようにして下さい。

非循環式・かけ流しTips

培養液の温度を24度以下に保ってください。培養液を与える際は、5~25%ほど排水されるよう余分に与えてください。培養液を1~3回与えたら、培養液の代わりに新鮮な水を与える事もご検討下さい。培養液を溜める際はエアレーションして下さい。培養液のpHは5.5~6.5が最適です。

培養液の作り方

はじめに必要な分量の水を用意して、その中に順次液肥を溶かし込んでください。液肥の順番には特に注意する点はありません。液肥を入れるたびによくかき混ぜてください。液肥同士を直接混ぜ合わせないでください。

輸入・販売元 **合同会社 霧島通商**

宮崎県宮崎市霧島4丁目130-1

TEL: 0985-71-0670 FAX: 0975-71-0792

info@kirishima-commerce.com <http://kirishima-commerce.com>